

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におけるブックガイド。

はぴ 19 号

2013年1月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

携帯電話用





『新釈 走れメロス』
他四篇』
もりみとみひこ
森見登美彦 作
祥伝社文庫 2009年

茅野は走る。身代わりとなつた親友・芹名との約束を守…らないために。
名作文学の舞台を現代の京都に移し、勝手にリメイクした、クスクス笑える短編集。原作と比べながら読んでみよう。



『きみが微笑む時』
あかひろみ
長倉洋海 作
福音館書店 2004年

学校で新しい机を待つ子、家を焼かれた子どもたち、市場の物売りの少女、靴みがきで家計を支える男の子…。
世界のさまざまな紛争地で生まれた笑顔が胸にしみ入る写真集。



『笑う招き猫』
やまぐら 俊二
山本幸久 作
集英社 2004年

ヒトミとアカコは27歳。大学時代に出会い、「コンビを組んで2年の駆けだし女芸人。ウケない、モテない、お金ない…。それでも今日もネタ合わせ。愛より笑いの青春小説。



『言いまつがい』
つかがわ 宗春
糸井重里 監修
東京糸井重里事務所
2004年

「さすがは生き地獄(生き字引)ですね」「壁の上塗り(恥の上塗り)」など、思わずぶっと吹き出してしまふ、愉快な言い間違いをたっぷり収録。はらわた煮えくりかえる(腹がよじれる)1冊です。



『チャップリン』
えしづお 隆夫
江藤文夫 作
岩波ジュニア新書
1995年

山高帽とステッキにダブダブのズボン。“喜劇王”チャップリンの映画は世界中の人々に夢と笑いを与えました。激動の時代の中で、彼が作り続けた映画にこめたメッセージを読み解きます。



『オチケン!』
おの たいじ
大倉崇裕 作
理論社 2007年

大学で廃部寸前の落研(落語研究会)に入部するはめになった越智健一。
変人の先輩2人に振り回され、気がつけばサークル間の争いに巻き込まれていた！
落語をヒントに謎を解決していく、オチのある連作ミステリー。



『よい子への道』
みやもと 健二
おかへりか 作
福音館書店 1995年

冬のさむい日にはいけなことは「〇〇の上でおどる」「〇〇かまくらをつくる」!?
ぜったいやらないよ!とツツコミながらも、ちょっぴりやってみたくなる(?)大爆笑ネタ満載の本。



『放っておけない』
うめず 一雄
賀東招二 作
富士見ファンタジア文庫
1998年

紛争地帯に育った相良宗介。ラブレターを不審物と間違ひ爆破、盗難対策に手榴弾設置、と、日本の学園生活に戦地での常識(?)を持ちこみ、今日も校舎に爆発音を響かせる。
抱腹絶倒の学園ラブコメ短編シリーズ。



新しいいろはかるた!?

いろはのかるた^{ふぎょう}奉行は、新しいいろはかるたを考えています。でも、どれも少し変なのです。「いぬも あつけりゃ ぼうつとする」とか「はなからタンゴ」とか…。一体どんな意味なんだろう?



『いろはのかるた^{ふぎょう}奉行』
はせがわ ましるみ 長谷川 義史 作・絵
講談社 2005年

新年1月4日に新館が開館!

新年明けましておめでとうございます。

今回ははぴでは、「笑い」についての本を9冊紹介しました。皆さんにたくさんの笑いと幸福がおとすれますように♪

さいたま市で24館目となる武蔵浦和図書館が開館しました。駅から近くて、ヤングコーナーが充実しています♪皆さんも是非一度行ってください。



次回
予告

はぴ20号 (4月発行) のテーマは「20」

☆☆ はぴは次号で、ついに20号 ☆☆

